

さまざまな経験やそのときどきの想いを糧に築きあげ、「昨日より今日、今日より明日」の人生を充実させている、  
神 幸代さんの生き方を紹介します。

## 素直に、正直に。 人生を楽しみたい



Atelier muguet 主宰  
じん ゆきよ  
神 幸代さん

【Profile】八戸市出身。育児期間中にプリザーブドフラワーの教室に通い資格を取得。教室のアシスタントを務めたのち、2008年に独立し「Atelier muguet (アトリエ ミュゲ)」を立ち上げる。フラワーアレンジメントや花雑貨、ハンドメイド作品の制作・販売を手掛け、プリザーブドフラワーやアーティフィシャルフラワーなどのフラワーアレンジメントの講師としても活躍中。

### フラワーアレンジメントで人を笑顔に

プリザーブドフラワー（保存加工を施した花）、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワー（造花）などの花材を使って、アレンジメント作品や花雑貨を制作・販売し、自宅レッスンや出張レッスンも主宰する神幸代さん。「お花には人を癒す力があります。そしてアレンジメントは、お花にプラスアルファの魅力を持たせます。自分のデザインする作品を提供したり、作品を作ることの楽しさを知ってもらったりすることで、多くの人に喜びを感じてもらえたら」。そんな想いで、日々活動しています。

活動名のミュゲは、フランス語でスズランのこと。「愛らしくも凛としていて一番好きな花」と、神さん。「幸福の再来」という花言葉にも、自身の想いに通じるものを感じて名前にしたといいます。

不特定多数の人に作品を提供できるイベントへ精力的に出店。「自分の作品を通してたくさんの人と触れ合い、笑顔を見ることがは活力にもなる。その先の活動にもつながっていきます」

と話します。

### 育児期間中の挑戦

神さんは大学で家政科を専攻。「もともとファッションやものづくりが好きで。特に、被服の授業が楽しかったですね」と振り返ります。県内就職にこだわったことから、卒業後は青森県立郷土館で約3年解説員として勤務。その後結婚と出産のため専業主婦になると、「何か好きなことをやりたい」という気持ちが湧いてきたといいます。「思いついたらすぐ行動に移すタイプ」と自身を分析する神さん。「1人目の子が1歳くらいになった頃でした。もし何かやるのなら、手に職ではないですけど、仕事に通じる技術を身に付けたいなと思っていて。そんな時目に留まったのが、プリザーブドフラワーの教室の広告だったんです」と話します。

### 人生一度きり、仕事も暮らしも笑顔で楽しく

独立してから今まで、時には遺跡でガイドをしたり、時にはガーデンングショップで販売員をしたりと、アトリエミュゲの活動以外にもさまざまな仕事に取り組んできました。「家族の生活もありますし、資金源も必要。何より、やりたいと思ったことはモヤモヤしていないでやってみよう、いつも思ってた行動してしま」と前向きです。「一度しかない人生。仕事も暮らしも、笑顔で楽しんでいきたいですね」。

末の子が今春高校を卒業。自分の時間がこれまでより増えるため、アトリエミュゲの活動、特にお花に向き合う時間を積極的に増やすことを考えているそう。「まずは、子どもたちがお花に触れる、花育を意識したワークショップを増やしたいと考えています。それから、いくつかディスプレイ用の大きい作品も手掛けてみたいですね」。「流れるようにこまできた」と話しながらも、夢についてしっかりと語る神さんの眼差しが印象的でした。

2人目の妊娠・出産に育児も両立して教室に通い、2年ほどかけて資格を取得。「子どもが小さいうちに行動できたのは、自分と夫それぞれ両親の理解があり、協力してくれたからだと思います」と微笑みます。「卒業認定を取るため名古屋の協会本部へ赴き、創作ブーケを作りお披露目する必要がありました。まだ生まれて間もない2人目を預けて、授乳期特有の身体への負担をケアしながら認定を取ったのが思い出ですね」と振り返ります。

晴れて資格を取得したのち、2年ほど通った教室でアシスタントを務めました。その間には3人目も生まれるなど、公私ともに順風満帆のように思えたこの頃、神さんは今の活動につながる大きな決断をします。「協会を離れてフリーになるかどうか、すごく迷ったのがこの頃でした。アシスタントを経ていざ自分の教室を構えるとなったとき、私は、大学の時に被服を学んだ経験を活かした作品づくりもしたいと思ったのです。協会に所属していると、制約さ

